

平成 22 年度国民経済計算のポイント

(平成 17 年基準改定の概要)

1. 支出

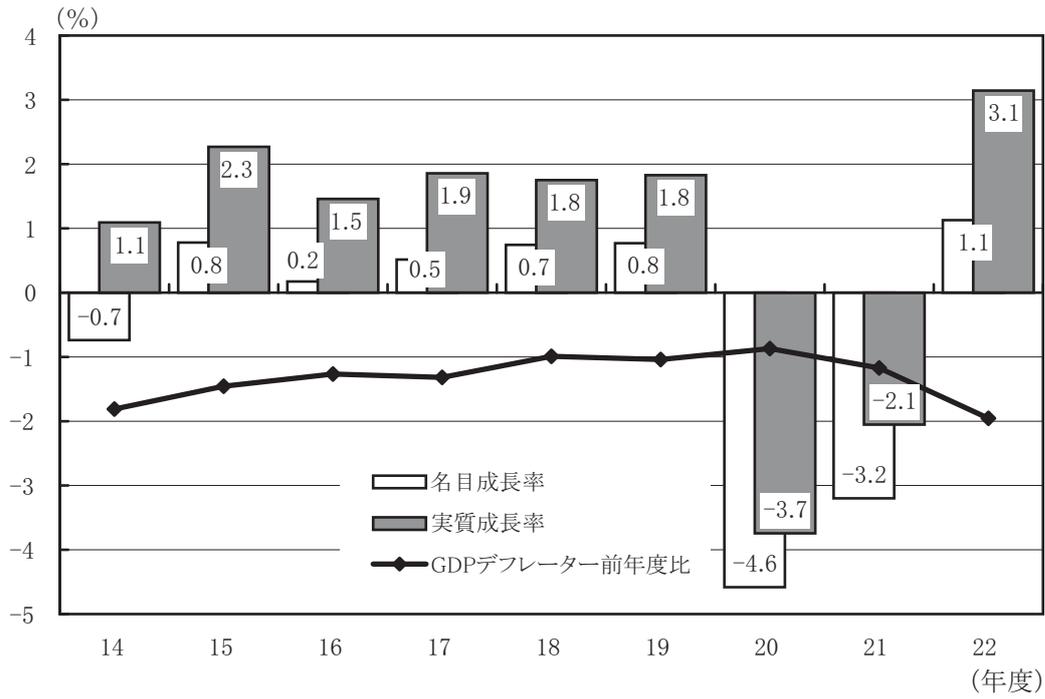
平成 22 年度の名目 GDP（支出側）は前年度比 1.1% 増と 3 年ぶりのプラスとなった。
 実質 GDP（支出側）についても前年度比 3.1% 増と 3 年ぶりのプラスとなった。

経済成長率の推移

			14年度	15年度	16年度	17年度	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度	22年度 構成比 (%) 2010
			2002	2003	2004	2005	2006	2007	2008	2009	2010	
GDP（支出側）	(兆円)	名目	498.0	501.9	502.8	505.3	509.1	513.0	489.5	473.9	479.2	
GDP（支出側）	(前年度比、%)		-0.7	0.8	0.2	0.5	0.7	0.8	-4.6	-3.2	1.1	
GDPデフレーター	(前年度比、%)		-1.8	-1.5	-1.3	-1.3	-1.0	-1.0	-0.9	-1.2	-2.0	
GDP（支出側）	(前年度比、%)		1.1	2.3	1.5	1.9	1.8	1.8	-3.7	-2.1	3.1	100.0
国内需要	(前年度比、%)		0.3	1.5	0.9	1.3	1.0	0.6	-2.7	-2.2	2.4	99.1
	(寄与度、%)		0.3	1.4	0.9	1.2	1.0	0.6	-2.7	-2.2	2.4	
民間需要	(前年度比、%)		0.3	2.0	1.7	2.0	1.7	0.8	-3.1	-4.2	3.0	74.7
	(寄与度、%)		0.2	1.5	1.3	1.5	1.3	0.6	-2.3	-3.2	2.3	
民間最終消費支出	(前年度比、%)		1.2	0.8	0.8	1.9	0.8	0.8	-2.0	1.2	1.6	59.3
	(寄与度、%)		0.7	0.5	0.4	1.1	0.5	0.5	-1.1	0.7	0.9	
家計最終消費支出	(前年度比、%)		1.2	0.7	0.8	1.9	0.8	0.9	-2.0	1.1	1.5	58.0
	(寄与度、%)		0.7	0.4	0.4	1.1	0.5	0.5	-1.1	0.6	0.8	
民間住宅	(前年度比、%)		-2.1	-0.3	1.5	-0.7	0.1	-14.5	-1.1	-21.0	2.3	2.7
	(寄与度、%)		-0.1	-0.0	0.1	-0.0	0.0	-0.5	-0.0	-0.7	0.1	
民間企業設備	(前年度比、%)		-2.2	5.1	4.5	4.4	5.9	3.0	-7.7	-12.0	3.5	12.9
	(寄与度、%)		-0.3	0.7	0.6	0.6	0.8	0.4	-1.1	-1.7	0.4	
民間在庫品増加	(寄与度、%)	実質	-0.1	0.4	0.2	-0.1	-0.1	0.2	0.0	-1.5	0.8	-0.3
公的需要	(前年度比、%)		0.2	-0.3	-1.5	-1.2	-1.3	0.0	-1.6	4.2	0.5	24.4
	(寄与度、%)		0.1	-0.1	-0.4	-0.3	-0.3	0.0	-0.4	1.0	0.1	
政府最終消費支出	(前年度比、%)		2.1	2.1	1.2	0.4	0.4	1.2	-0.4	2.7	2.3	20.0
	(寄与度、%)		0.4	0.4	0.2	0.1	0.1	0.2	-0.1	0.5	0.5	
公的固定資本形成	(前年度比、%)		-5.1	-7.3	-10.9	-6.7	-7.3	-4.9	-6.7	11.5	-6.8	4.5
	(寄与度、%)		-0.3	-0.5	-0.6	-0.3	-0.3	-0.2	-0.3	0.5	-0.3	
公的在庫品増加	(寄与度、%)		0.0	-0.0	0.0	-0.0	-0.0	0.0	0.0	-0.0	-0.0	-0.0
財貨・サービスの純輸出	(寄与度、%)		0.8	0.8	0.5	0.6	0.8	1.2	-1.1	0.2	0.8	0.9
財貨・サービスの輸出	(前年度比、%)		11.9	10.1	11.1	8.5	8.7	9.4	-10.6	-9.8	17.2	15.4
	(寄与度、%)		1.2	1.2	1.4	1.1	1.3	1.6	-1.9	-1.6	2.3	
財貨・サービスの輸入	(前年度比、%)		4.3	3.2	7.9	4.5	3.8	2.4	-4.7	-10.7	12.0	14.5
	(寄与度、%)		-0.4	-0.3	-0.8	-0.5	-0.5	-0.4	0.8	1.7	-1.5	

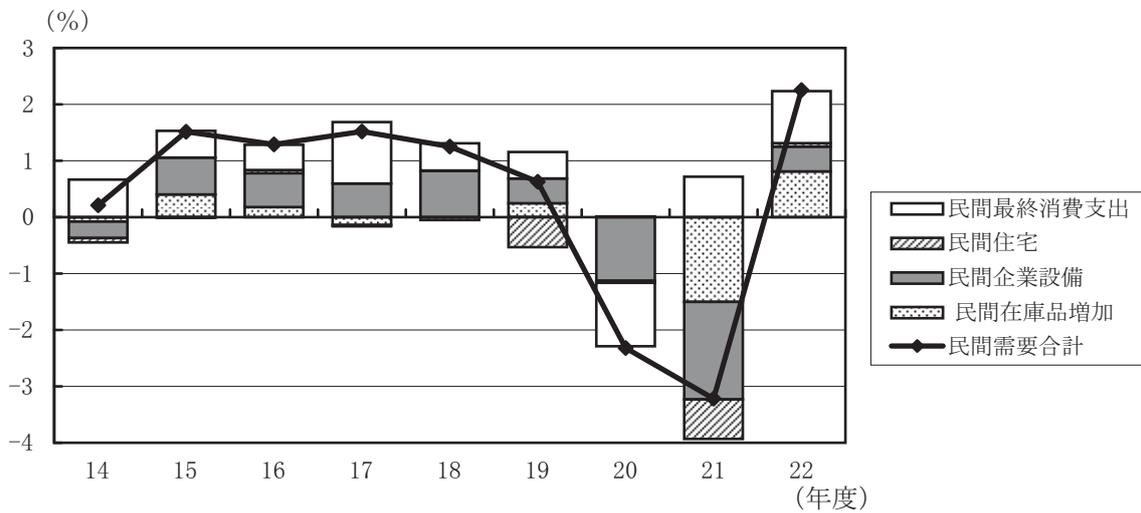
(注) 寄与度は、GDP（支出側）前年度比に対する寄与度。

GDP（支出側）前年度比の推移

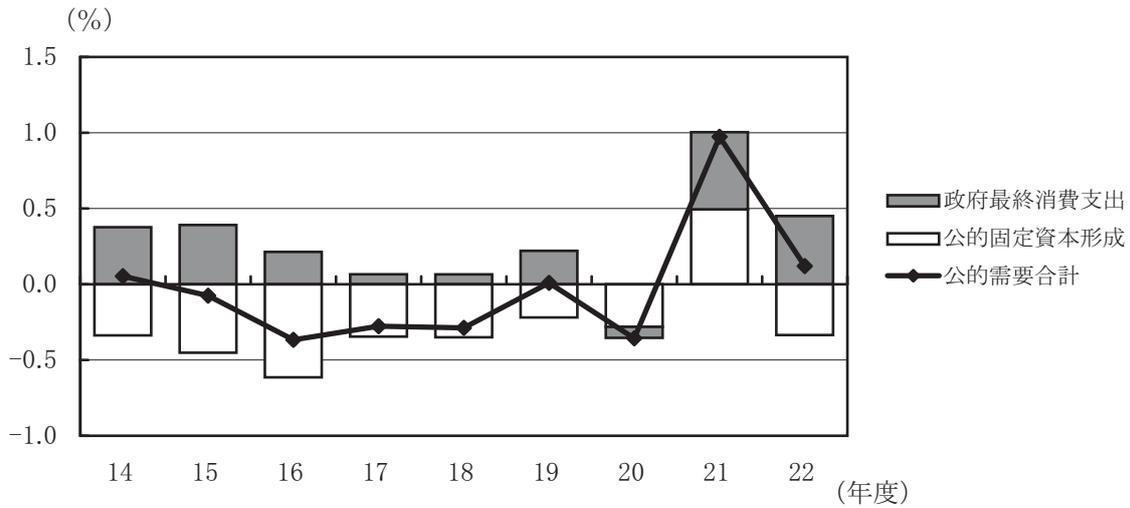


実質GDP（支出側）前年度比に対する寄与度

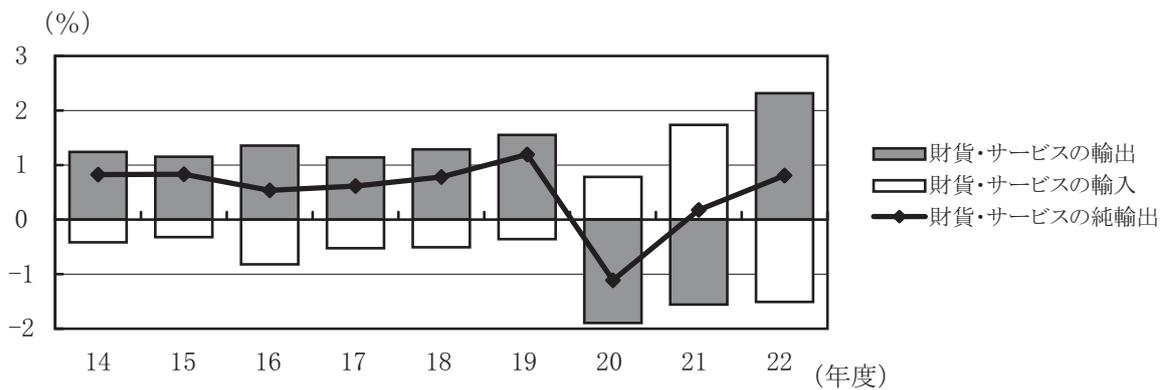
(1) 民間需要



(2) 公的需要



(3) 財貨・サービスの純輸出



名目GDP (平成17年基準) の改定要因について

名目GDP (支出側) の改定幅における概念変更等による影響は以下のとおり。

(兆円)

年度 (平成)	6年 1994	7年 1995	8年 1996	9年 1997	10年 1998	11年 1999	12年 2000	13年 2001	14年 2002	15年 2003	16年 2004	17年 2005	18年 2006	19年 2007	20年 2008	21年 2009	22年 2010
名目GDP (17年基準) (A)	495.6	504.6	515.9	521.3	510.9	506.6	510.8	501.7	498.0	501.9	502.8	505.3	509.1	513.0	489.5	473.9	479.2
名目GDP (12年基準) (B)	489.4	497.7	509.1	513.6	503.3	499.5	504.1	493.6	489.9	493.7	498.5	503.2	510.9	515.8	492.1	474.0	475.8
改定幅 [(A) - (B)]	6.2	6.9	6.8	7.7	7.6	7.1	6.7	8.1	8.1	8.1	4.3	2.2	▲1.8	▲2.8	▲2.5	▲0.2	3.4
F I S I M	5.2	5.6	6.3	6.6	7.0	7.0	7.7	9.1	10.3	10.4	10.2	10.4	10.1	9.2	8.1	7.8	6.8
固定資本減耗	0.5	0.4	0.4	0.4	0.2	0.1	0.0	▲0.4	▲1.0	▲1.3	▲1.9	▲2.2	▲2.5	▲2.8	▲3.5	▲3.1	▲3.3
自社開発ソフトウェア	1.2	1.1	1.0	1.2	1.4	1.3	1.5	1.5	1.8	1.9	1.9	1.7	1.6	1.6	1.7	1.6	1.9
その他	▲0.7	▲0.3	▲0.9	▲0.4	▲1.0	▲1.3	▲2.5	▲2.2	▲3.0	▲2.8	▲5.8	▲7.8	▲11.0	▲10.8	▲8.9	▲6.5	▲2.1

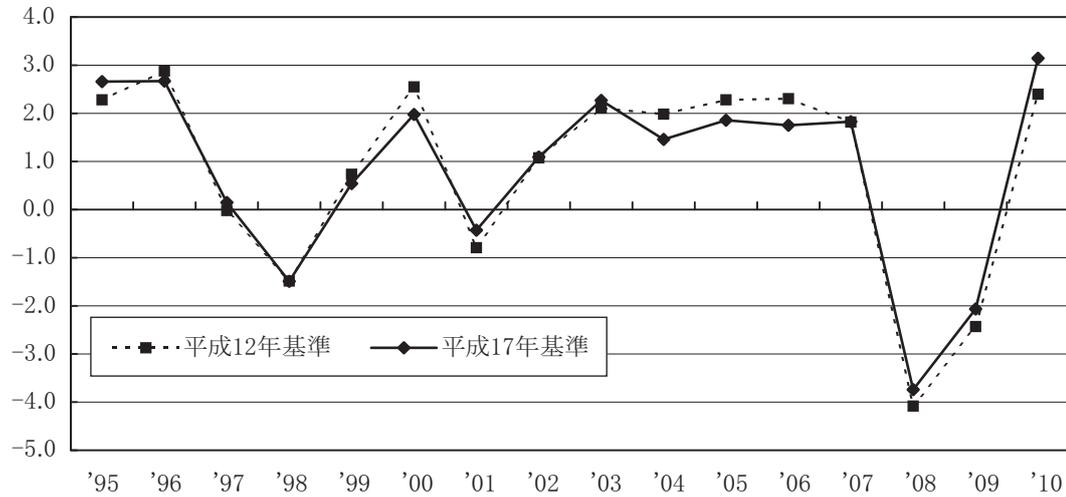
※「固定資本減耗」の欄は平成17年基準による計数と平成12年基準による計数の差である。

※「その他」の欄は、FISIM、固定資本減耗、自社開発ソフトウェア以外の要因 (新たな基礎統計の取り込み等) によるものである。

実質GDPの改定状況

(1) 実質GDP成長率（前年度比）

(前年度比、単位：%)



(前年度比、単位：%)

年度（平成）	7年 1995	8年 1996	9年 1997	10年 1998	11年 1999	12年 2000	13年 2001	14年 2002	15年 2003	16年 2004	17年 2005	18年 2006	19年 2007	20年 2008	21年 2009	22年 2010
平成17年基準	2.7	2.7	0.1	-1.5	0.5	2.0	-0.4	1.1	2.3	1.5	1.9	1.8	1.8	-3.7	-2.1	3.1
平成12年基準	2.3	2.9	-0.0	-1.5	0.7	2.6	-0.8	1.1	2.1	2.0	2.3	2.3	1.8	-4.1	-2.4	2.4

(2) 実質GDP及び各需要項目の伸び率（前年度比）の改定状況

(前年度比、単位：%)

年度（平成）		13年 2001	14年 2002	15年 2003	16年 2004	17年 2005	18年 2006	19年 2007	20年 2008	21年 2009	22年 2010
国内総生産（GDP）	新	-0.4	1.1	2.3	1.5	1.9	1.8	1.8	-3.7	-2.1	3.1
	旧	-0.8	1.1	2.1	2.0	2.3	2.3	1.8	-4.1	-2.4	2.4
	差	0.4	0.0	0.2	-0.5	-0.4	-0.6	0.0	0.3	0.4	0.7
民間最終消費支出	新	1.6	1.2	0.8	0.8	1.9	0.8	0.8	-2.0	1.2	1.6
	旧	1.4	1.2	0.6	1.2	1.8	1.4	1.4	-2.2	-0.0	1.0
	差	0.2	-0.1	0.2	-0.5	0.1	-0.5	-0.6	0.2	1.2	0.6
民間住宅	新	-7.2	-2.1	-0.3	1.5	-0.7	0.1	-14.5	-1.1	-21.0	2.3
	旧	-7.7	-2.2	-0.2	1.7	-1.2	-0.2	-13.5	-3.6	-18.2	-0.2
	差	0.5	0.1	-0.1	-0.1	0.6	0.3	-1.0	2.5	-2.8	2.5
民間企業設備	新	-3.2	-2.2	5.1	4.5	4.4	5.9	3.0	-7.7	-12.0	3.5
	旧	-2.4	-2.9	6.1	6.8	6.2	4.7	0.8	-6.9	-13.6	4.2
	差	-0.8	0.8	-1.0	-2.3	-1.8	1.2	2.2	-0.8	1.6	-0.7
政府最終消費支出	新	3.9	2.1	2.1	1.2	0.4	0.4	1.2	-0.4	2.7	2.3
	旧	2.8	2.1	2.6	1.7	0.8	1.1	1.5	0.2	3.5	2.3
	差	1.1	-0.0	-0.4	-0.5	-0.4	-0.8	-0.3	-0.6	-0.8	0.0
公的固定資本形成	新	-6.0	-5.1	-7.3	-10.9	-6.7	-7.3	-4.9	-6.7	11.5	-6.8
	旧	-4.7	-5.4	-9.5	-12.7	-5.6	-8.8	-6.4	-6.8	14.3	-9.8
	差	-1.3	0.3	2.2	1.8	-1.2	1.6	1.5	0.1	-2.8	3.1
財貨・サービスの輸出	新	-7.8	11.9	10.1	11.1	8.5	8.7	9.4	-10.6	-9.8	17.2
	旧	-7.9	11.5	9.8	11.4	9.0	8.3	9.3	-10.4	-9.6	17.1
	差	0.1	0.5	0.2	-0.3	-0.5	0.4	0.1	-0.2	-0.2	0.1
財貨・サービスの輸入 （控除）	新	-3.5	4.3	3.2	7.9	4.5	3.8	2.4	-4.7	-10.7	12.0
	旧	-3.4	4.8	3.0	8.5	5.8	3.1	1.9	-4.2	-11.0	10.9
	差	-0.1	-0.5	0.2	-0.5	-1.4	0.6	0.5	-0.5	0.3	1.1

※：各項目の上段（新）は平成17年基準、中段（旧）は平成12年基準の計数を示す。

(3) 実質GDP成長率に対する需要項目別寄与度の改定状況

(前年度比、単位：%)

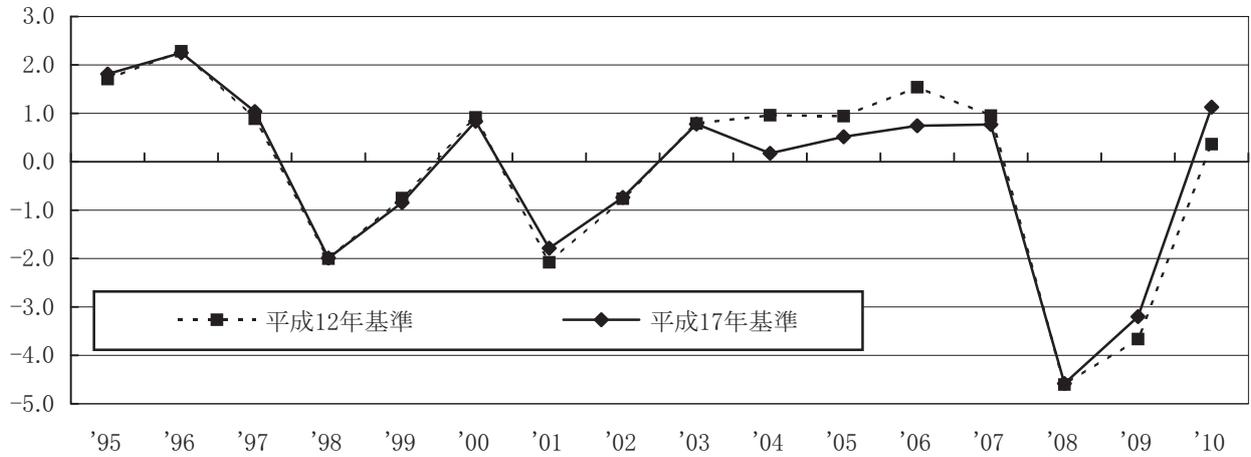
年度 (平成)		13年 2001	14年 2002	15年 2003	16年 2004	17年 2005	18年 2006	19年 2007	20年 2008	21年 2009	22年 2010
国内総生産 (GDP)	新	-0.4	1.1	2.3	1.5	1.9	1.8	1.8	-3.7	-2.1	3.1
	旧	-0.8	1.1	2.1	2.0	2.3	2.3	1.8	-4.1	-2.4	2.4
	差	0.4	0.0	0.2	-0.5	-0.4	-0.6	0.0	0.3	0.4	0.7
民間最終消費支出	新	0.9	0.7	0.5	0.4	1.1	0.5	0.5	-1.1	0.7	0.9
	旧	0.8	0.7	0.4	0.7	1.0	0.8	0.8	-1.2	-0.0	0.5
	差	0.1	-0.0	0.1	-0.3	0.0	-0.3	-0.3	0.1	0.7	0.4
民間住宅	新	-0.3	-0.1	-0.0	0.1	-0.0	0.0	-0.5	-0.0	-0.7	0.1
	旧	-0.3	-0.1	-0.0	0.1	-0.0	-0.0	-0.5	-0.1	-0.6	-0.0
	差	0.0	0.0	-0.0	-0.0	0.0	0.0	-0.0	0.1	-0.1	0.1
民間企業設備	新	-0.5	-0.3	0.7	0.6	0.6	0.8	0.4	-1.1	-1.7	0.4
	旧	-0.3	-0.4	0.8	0.9	0.9	0.7	0.1	-1.1	-2.1	0.5
	差	-0.1	0.1	-0.1	-0.3	-0.3	0.1	0.3	-0.1	0.4	-0.1
民間在庫品増加	新	-0.3	-0.1	0.4	0.2	-0.1	-0.1	0.2	0.0	-1.5	0.8
	旧	-0.5	0.1	0.3	0.1	0.0	0.2	0.1	-0.3	-1.1	0.5
	差	0.2	-0.2	0.1	0.1	-0.1	-0.3	0.1	0.3	-0.4	0.3
政府最終消費支出	新	0.7	0.4	0.4	0.2	0.1	0.1	0.2	-0.1	0.5	0.5
	旧	0.5	0.4	0.5	0.3	0.1	0.2	0.3	0.0	0.7	0.4
	差	0.2	0.0	-0.1	-0.1	-0.1	-0.1	-0.1	-0.1	-0.1	0.0
公的固定資本形成	新	-0.4	-0.3	-0.5	-0.6	-0.3	-0.3	-0.2	-0.3	0.5	-0.3
	旧	-0.3	-0.4	-0.6	-0.7	-0.3	-0.4	-0.3	-0.3	0.6	-0.5
	差	-0.1	0.0	0.1	0.1	-0.1	0.1	0.0	-0.0	-0.1	0.1
公的在庫品増加	新	-0.0	0.0	-0.0	0.0	-0.0	-0.0	0.0	0.0	-0.0	-0.0
	旧	-0.0	0.0	-0.0	0.0	-0.0	-0.0	0.0	-0.0	-0.0	0.0
	差	0.0	0.0	-0.0	-0.0	0.0	0.0	-0.0	0.0	0.0	-0.0
財貨・サービスの輸出	新	-0.9	1.2	1.2	1.4	1.1	1.3	1.6	-1.9	-1.6	2.3
	旧	-0.9	1.2	1.1	1.4	1.2	1.2	1.5	-1.8	-1.5	2.3
	差	0.0	0.0	0.0	-0.1	-0.1	0.1	0.0	-0.0	-0.0	0.0
財貨・サービスの輸入 (控除)	新	0.3	-0.4	-0.3	-0.8	-0.5	-0.5	-0.4	0.8	1.7	-1.5
	旧	0.3	-0.5	-0.3	-0.9	-0.7	-0.4	-0.3	0.7	1.8	-1.4
	差	0.0	0.1	-0.0	0.1	0.2	-0.1	-0.1	0.1	-0.0	-0.1

※：各項目の上段 (新) は平成 17 年基準、中段 (旧) は平成 12 年基準の計数を示す。

名目GDPの改定状況

(1) 名目GDP成長率（前年度比）

(前年度比、単位：%)

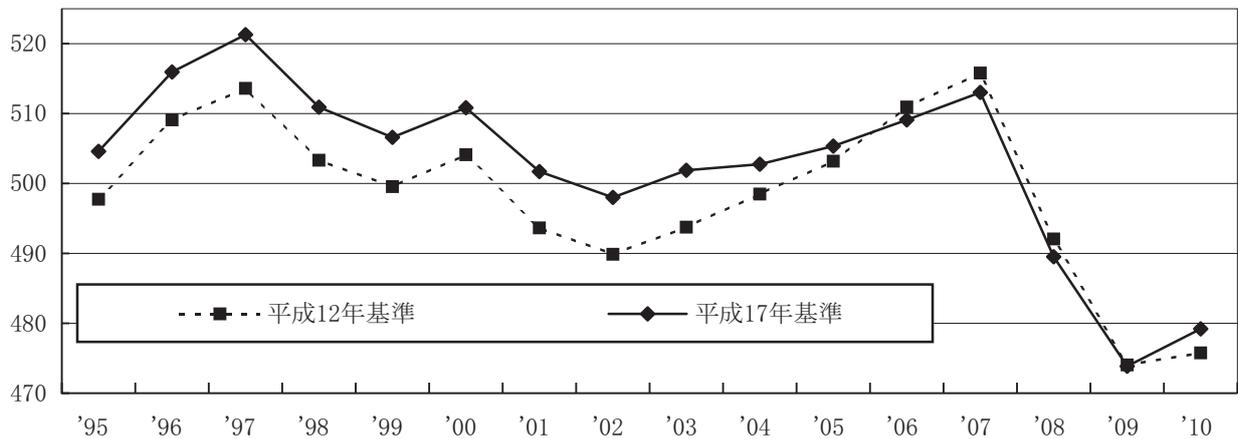


(前年度比、単位：%)

年度 (平成)	7年 1995	8年 1996	9年 1997	10年 1998	11年 1999	12年 2000	13年 2001	14年 2002	15年 2003	16年 2004	17年 2005	18年 2006	19年 2007	20年 2008	21年 2009	22年 2010
平成17年基準	1.8	2.2	1.0	-2.0	-0.8	0.8	-1.8	-0.7	0.8	0.2	0.5	0.7	0.8	-4.6	-3.2	1.1
平成12年基準	1.7	2.3	0.9	-2.0	-0.8	0.9	-2.1	-0.8	0.8	1.0	0.9	1.5	1.0	-4.6	-3.7	0.4

(2) 名目GDP（実額）（年度）

(兆円)



(兆円)

年度 (平成)	7年 1995	8年 1996	9年 1997	10年 1998	11年 1999	12年 2000	13年 2001	14年 2002	15年 2003	16年 2004	17年 2005	18年 2006	19年 2007	20年 2008	21年 2009	22年 2010
平成17年基準	505	516	521	511	507	511	502	498	502	503	505	509	513	490	474	479
平成12年基準	498	509	514	503	500	504	494	490	494	498	503	511	516	492	474	476

(3) 名目GDP及び各需要項目の伸び率（前年度比）の改定状況

(前年度比、単位：%)

年度（平成）		13年 2001	14年 2002	15年 2003	16年 2004	17年 2005	18年 2006	19年 2007	20年 2008	21年 2009	22年 2010
国内総生産（GDP）	新	-1.8	-0.7	0.8	0.2	0.5	0.7	0.8	-4.6	-3.2	1.1
	旧	-2.1	-0.8	0.8	1.0	0.9	1.5	1.0	-4.6	-3.7	0.4
	差	0.3	0.0	-0.0	-0.8	-0.4	-0.8	-0.2	0.0	0.5	0.8
民間最終消費支出	新	0.2	-0.1	-0.2	0.0	1.4	0.3	0.5	-2.2	-1.3	-0.0
	旧	0.1	-0.1	-0.2	0.6	1.1	1.1	1.1	-2.2	-2.3	-0.5
	差	0.1	-0.0	0.0	-0.5	0.3	-0.7	-0.7	-0.1	1.0	0.5
民間住宅	新	-8.5	-3.1	-0.0	2.1	0.1	2.1	-12.9	1.1	-23.5	2.8
	旧	-8.9	-3.2	0.0	2.7	-0.1	2.0	-11.5	-1.2	-21.3	0.3
	差	0.4	0.0	-0.1	-0.5	0.2	0.1	-1.5	2.3	-2.2	2.5
民間企業設備	新	-6.1	-4.8	2.2	3.0	4.1	5.7	2.9	-7.6	-14.4	2.1
	旧	-5.0	-5.4	3.5	6.1	6.1	5.2	1.4	-5.7	-16.6	3.4
	差	-1.1	0.6	-1.3	-3.1	-2.0	0.5	1.6	-1.9	2.1	-1.2
政府最終消費支出	新	3.5	0.3	0.8	0.7	0.4	-0.5	1.4	-0.4	1.5	1.6
	旧	2.2	0.0	1.1	1.3	0.9	0.4	2.1	0.5	1.7	1.5
	差	1.2	0.3	-0.3	-0.6	-0.5	-0.9	-0.7	-0.9	-0.2	0.2
公的固定資本形成	新	-8.0	-6.6	-7.5	-10.4	-5.4	-6.0	-3.0	-4.0	7.7	-6.1
	旧	-6.5	-6.7	-9.4	-11.6	-4.2	-7.7	-4.2	-3.8	8.6	-9.0
	差	-1.6	0.1	1.9	1.2	-1.2	1.6	1.1	-0.2	-0.9	3.0
財貨・サービスの輸出	新	-5.9	8.5	6.4	10.8	11.6	11.9	10.0	-15.0	-17.9	14.4
	旧	-6.0	8.4	6.5	11.0	11.7	12.0	9.9	-15.1	-18.0	14.5
	差	0.2	0.1	-0.1	-0.2	-0.1	-0.1	0.0	0.1	0.1	-0.1
財貨・サービスの輸入 （控除）	新	-1.9	3.8	1.6	13.4	17.9	12.3	9.7	-4.9	-25.0	15.5
	旧	-2.1	4.3	1.4	13.5	17.7	12.2	9.7	-4.7	-25.0	15.5
	差	0.2	-0.5	0.2	-0.2	0.2	0.1	-0.1	-0.2	0.0	0.0

※：各項目の上段（新）は平成17年基準、中段（旧）は平成12年基準の計数を示す。

(4) 名目GDP成長率に対する需要項目別寄与度の改定状況

(前年度比、単位：%)

年度(平成)		13年 2001	14年 2002	15年 2003	16年 2004	17年 2005	18年 2006	19年 2007	20年 2008	21年 2009	22年 2010
国内総生産(GDP)	新	-1.8	-0.7	0.8	0.2	0.5	0.7	0.8	-4.6	-3.2	1.1
	旧	-2.1	-0.8	0.8	1.0	0.9	1.5	1.0	-4.6	-3.7	0.4
	差	0.3	0.0	-0.0	-0.8	-0.4	-0.8	-0.2	0.0	0.5	0.8
民間最終消費支出	新	0.1	-0.1	-0.1	0.0	0.8	0.2	0.3	-1.3	-0.8	-0.0
	旧	0.0	-0.0	-0.1	0.3	0.6	0.6	0.6	-1.2	-1.3	-0.3
	差	0.1	-0.0	0.0	-0.3	0.2	-0.4	-0.4	-0.1	0.5	0.3
民間住宅	新	-0.3	-0.1	-0.0	0.1	0.0	0.1	-0.5	0.0	-0.8	0.1
	旧	-0.4	-0.1	0.0	0.1	-0.0	0.1	-0.4	-0.0	-0.7	0.0
	差	0.0	0.0	-0.0	-0.0	0.0	0.0	-0.1	0.1	-0.1	0.1
民間企業設備	新	-0.9	-0.7	0.3	0.4	0.6	0.8	0.4	-1.1	-2.1	0.3
	旧	-0.7	-0.8	0.5	0.8	0.9	0.8	0.2	-0.9	-2.6	0.5
	差	-0.1	0.1	-0.2	-0.4	-0.3	0.0	0.2	-0.2	0.5	-0.2
民間在庫品増加	新	-0.2	-0.1	0.4	0.2	-0.1	-0.0	0.2	-0.1	-1.3	0.8
	旧	-0.5	0.1	0.2	0.1	-0.0	0.2	0.1	-0.5	-0.9	0.3
	差	0.2	-0.2	0.1	0.0	-0.1	-0.3	0.1	0.4	-0.4	0.5
政府最終消費支出	新	0.6	0.1	0.1	0.1	0.1	-0.1	0.3	-0.1	0.3	0.3
	旧	0.4	0.0	0.2	0.2	0.2	0.1	0.4	0.1	0.3	0.3
	差	0.2	0.1	-0.0	-0.1	-0.1	-0.2	-0.1	-0.2	-0.0	0.0
公的固定資本形成	新	-0.6	-0.4	-0.5	-0.6	-0.3	-0.3	-0.1	-0.2	0.3	-0.3
	旧	-0.4	-0.4	-0.6	-0.6	-0.2	-0.4	-0.2	-0.1	0.3	-0.4
	差	-0.1	0.0	0.1	0.0	-0.1	0.1	0.0	-0.0	-0.0	0.1
公的在庫品増加	新	-0.0	0.0	-0.0	0.0	-0.0	-0.0	0.0	0.0	-0.0	-0.0
	旧	-0.0	0.0	-0.0	0.0	-0.0	-0.0	0.0	-0.0	-0.0	0.0
	差	0.0	0.0	-0.0	0.0	0.0	0.0	-0.0	0.0	0.0	-0.0
財貨・サービスの輸出	新	-0.6	0.9	0.7	1.3	1.6	1.8	1.6	-2.7	-2.9	2.0
	旧	-0.7	0.9	0.8	1.3	1.6	1.8	1.6	-2.7	-2.9	2.0
	差	0.0	0.0	-0.0	-0.0	-0.0	-0.0	0.0	0.0	-0.0	-0.0
財貨・サービスの輸入 (控除)	新	0.2	-0.4	-0.2	-1.4	-2.1	-1.7	-1.5	0.8	4.1	-2.0
	旧	0.2	-0.4	-0.1	-1.4	-2.1	-1.7	-1.5	0.8	4.1	-2.0
	差	-0.0	0.0	-0.0	0.0	-0.0	-0.0	0.0	0.0	0.0	-0.0

※：各項目の上段(新)は平成17年基準、中段(旧)は平成12年基準の計数を示す。

(5) 名目GDP及び各需要項目の改定状況

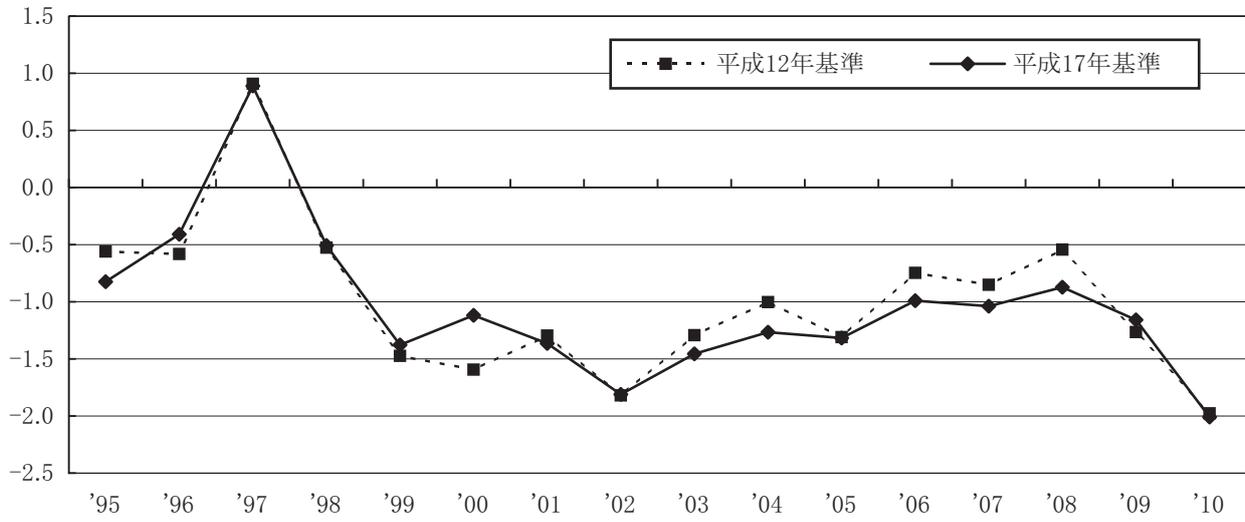
(実額、単位：兆円)

年度(平成)		13年 2001	14年 2002	15年 2003	16年 2004	17年 2005	18年 2006	19年 2007	20年 2008	21年 2009	22年 2010
国内総生産(GDP)	新	501.7	498.0	501.9	502.8	505.3	509.1	513.0	489.5	473.9	479.2
	旧	493.6	489.9	493.7	498.5	503.2	510.9	515.8	492.1	474.0	475.8
	差	8.1	8.1	8.1	4.3	2.2	-1.8	-2.8	-2.5	-0.2	3.4
民間最終消費支出	新	289.1	288.8	288.3	288.4	292.4	293.4	294.7	288.1	284.2	284.2
	旧	283.3	283.2	282.6	284.2	287.3	290.3	293.6	287.3	280.7	279.4
	差	5.7	5.6	5.7	4.2	5.1	3.0	1.1	0.8	3.5	4.8
民間住宅	新	18.6	18.0	18.0	18.4	18.4	18.8	16.4	16.5	12.6	13.0
	旧	18.5	17.9	17.9	18.4	18.4	18.8	16.6	16.4	12.9	12.9
	差	0.1	0.1	0.1	-0.0	0.0	0.0	-0.2	0.1	-0.3	0.1
民間企業設備	新	67.7	64.4	65.8	67.8	70.6	74.7	76.8	71.0	60.8	62.1
	旧	68.8	65.1	67.4	71.5	75.9	79.8	80.9	76.3	63.7	65.8
	差	-1.1	-0.7	-1.5	-3.7	-5.3	-5.2	-4.1	-5.3	-2.9	-3.8
民間在庫品増加	新	-0.9	-1.3	0.5	1.2	0.6	0.5	1.7	1.3	-5.1	-1.5
	旧	-0.8	-0.3	0.8	1.4	1.3	2.5	3.1	0.8	-3.6	-2.2
	差	-0.1	-1.0	-0.4	-0.2	-0.7	-2.1	-1.5	0.6	-1.5	0.7
政府最終消費支出	新	90.4	90.7	91.4	92.1	92.4	91.9	93.3	92.9	94.2	95.8
	旧	87.7	87.7	88.6	89.8	90.6	90.9	92.9	93.4	94.9	96.3
	差	2.7	3.0	2.8	2.3	1.9	1.0	0.4	-0.5	-0.7	-0.6
公的固定資本形成	新	33.1	30.9	28.6	25.6	24.2	22.8	22.1	21.2	22.8	21.4
	旧	32.1	30.0	27.1	24.0	23.0	21.2	20.3	19.6	21.3	19.3
	差	1.0	0.9	1.5	1.6	1.2	1.5	1.7	1.6	1.6	2.1
財貨・サービスの輸出	新	52.5	57.0	60.7	67.3	75.1	84.1	92.4	78.6	64.5	73.8
	旧	52.3	56.7	60.4	67.0	74.9	83.9	92.2	78.3	64.2	73.5
	差	0.3	0.4	0.3	0.2	0.2	0.2	0.2	0.3	0.3	0.3
財貨・サービスの輸入 (控除)	新	48.6	50.5	51.3	58.1	68.5	76.9	84.4	80.2	60.2	69.5
	旧	48.4	50.5	51.2	58.1	68.4	76.8	84.2	80.2	60.2	69.5
	差	0.2	0.0	0.1	0.0	0.1	0.2	0.2	0.0	0.0	0.0

※：各項目の上段(新)は平成17年基準、中段(旧)は平成12年基準の計数を示す。

GDPデフレーター上昇率（前年度比）の改定状況

（前年度比、単位：％）



（前年度比、単位：％）

年度（平成）	7年 1995	8年 1996	9年 1997	10年 1998	11年 1999	12年 2000	13年 2001	14年 2002	15年 2003	16年 2004	17年 2005	18年 2006	19年 2007	20年 2008	21年 2009	22年 2010
平成17年基準	-0.8	-0.4	0.9	-0.5	-1.4	-1.1	-1.4	-1.8	-1.5	-1.3	-1.3	-1.0	-1.0	-0.9	-1.2	-2.0
平成12年基準	-0.6	-0.6	0.9	-0.5	-1.5	-1.6	-1.3	-1.8	-1.3	-1.0	-1.3	-0.7	-0.9	-0.5	-1.3	-2.0

(2) GDPデフレーター及び各項目の伸び率（前年度比）の改定状況

実質GDPの改定状況
(前年比、単位：%)

年度（平成）		13年	14年	15年	16年	17年	18年	19年	20年	21年	22年
		2001	2002	2003	2004	2005	2006	2007	2008	2009	2010
国内総生産（GDP）	新	-1.4	-1.8	-1.5	-1.3	-1.3	-1.0	-1.0	-0.9	-1.2	-2.0
	旧	-1.3	-1.8	-1.3	-1.0	-1.3	-0.7	-0.9	-0.5	-1.3	-2.0
	差	-0.1	0.0	-0.2	-0.3	-0.0	-0.2	-0.2	-0.3	0.1	0.0
民間最終消費支出	新	-1.3	-1.2	-1.0	-0.7	-0.5	-0.5	-0.4	-0.2	-2.5	-1.6
	旧	-1.3	-1.3	-0.9	-0.7	-0.7	-0.3	-0.3	0.0	-2.3	-1.4
	差	-0.1	0.0	-0.1	-0.1	0.2	-0.2	-0.1	-0.3	-0.3	-0.1
民間住宅	新	-1.4	-1.1	0.3	0.6	0.7	2.1	1.8	2.2	-3.2	0.5
	旧	-1.3	-1.0	0.2	1.0	1.1	2.2	2.3	2.5	-3.9	0.5
	差	-0.1	-0.0	0.0	-0.4	-0.4	-0.2	-0.5	-0.3	0.6	-0.0
民間企業設備	新	-3.0	-2.7	-2.7	-1.4	-0.3	-0.2	-0.1	0.2	-2.8	-1.3
	旧	-2.7	-2.5	-2.4	-0.7	-0.1	0.5	0.6	1.3	-3.4	-0.8
	差	-0.3	-0.2	-0.3	-0.7	-0.2	-0.7	-0.6	-1.1	0.6	-0.5
政府最終消費支出	新	-0.4	-1.7	-1.3	-0.4	0.0	-0.9	0.2	0.0	-1.2	-0.7
	旧	-0.6	-2.1	-1.5	-0.4	0.1	-0.7	0.6	0.4	-1.7	-0.8
	差	0.2	0.3	0.1	-0.1	-0.1	-0.2	-0.4	-0.3	0.5	0.1
公的固定資本形成	新	-2.2	-1.5	-0.2	0.6	1.4	1.3	2.0	2.9	-3.4	0.8
	旧	-1.8	-1.4	0.1	1.4	1.4	1.3	2.4	3.3	-4.9	0.9
	差	-0.4	-0.2	-0.3	-0.8	-0.0	0.1	-0.4	-0.4	1.5	-0.1
財貨・サービスの輸出	新	2.1	-3.0	-3.3	-0.3	2.9	3.0	0.5	-4.9	-9.0	-2.4
	旧	2.0	-2.7	-3.0	-0.3	2.5	3.4	0.6	-5.2	-9.3	-2.2
	差	0.1	-0.3	-0.3	0.1	0.4	-0.4	-0.1	0.3	0.3	-0.2
財貨・サービスの輸入 (控除)	新	1.6	-0.4	-1.6	5.0	12.8	8.3	7.1	-0.2	-16.0	3.1
	旧	1.3	-0.5	-1.6	4.7	11.2	8.8	7.7	-0.5	-15.7	4.1
	差	0.3	0.1	-0.0	0.3	1.6	-0.6	-0.6	0.3	-0.3	-1.0

※：各項目の上段（新）は平成17年基準、中段（旧）は平成12年基準の計数を示す。

2. 所得

(1) 国民所得

平成 22 年度の国民所得（要素費用表示）は前年度比 2.0% 増と 3 年ぶりの増加となった。内訳についてみると、雇員報酬が前年度比 0.5% 増と 4 年ぶりに増加、企業所得が前年度比 9.2% 増と 2 年連続で増加となった一方、財産所得が前年度比 7.7% 減と 4 年連続の減少となった。労働分配率（国民所得に占める雇員報酬の比率）は 69.9% と 2 年連続で低下した。

国民所得の推移

	14 年度 2002	15 年度 2003	16 年度 2004	17 年度 2005	18 年度 2006	19 年度 2007	20 年度 2008	21 年度 2009	22 年度 2010
国民所得（要素費用表示） （兆円）	363.9	368.1	370.1	374.1	378.1	381.1	354.8	342.5	349.3
（前年度比、%）	-0.8	1.2	0.5	1.1	1.1	0.8	-6.9	-3.5	2.0
雇員報酬 （兆円）	258.1	252.8	252.2	254.1	255.7	255.6	254.3	243.1	244.3
（前年度比、%）	-2.9	-2.1	-0.2	0.8	0.7	-0.0	-0.5	-4.4	0.5
（寄与度、%）	-2.1	-1.5	-0.2	0.5	0.5	-0.0	-0.4	-3.2	0.4
（構成比、%） = 労働分配率	70.9	68.7	68.1	67.9	67.6	67.1	71.7	71.0	69.9
財産所得 （兆円）	18.6	18.6	20.2	24.4	28.4	27.6	23.1	21.5	19.8
（前年度比、%）	-5.9	0.4	8.1	21.2	16.1	-2.7	-16.4	-6.9	-7.7
（寄与度、%）	-0.3	0.0	0.4	1.2	1.1	-0.2	-1.2	-0.4	-0.5
（構成比、%）	5.1	5.1	5.4	6.5	7.5	7.2	6.5	6.3	5.7
企業所得 （兆円）	87.2	96.7	97.8	95.6	94.0	97.8	77.4	78.0	85.2
（前年度比、%）	7.2	10.8	1.1	-2.2	-1.7	4.1	-20.9	0.7	9.2
（寄与度、%）	1.6	2.6	0.3	-0.6	-0.4	1.0	-5.4	0.2	2.1
（構成比、%）	24.0	26.3	26.4	25.6	24.9	25.7	21.8	22.8	24.4
うち民間法人企業 （兆円）	44.2	50.7	54.2	53.5	52.7	57.6	39.8	40.3	47.2
（前年度比、%）	6.8	14.7	6.9	-1.3	-1.6	9.3	-30.9	1.3	17.1
（寄与度、%）	0.8	1.8	1.0	-0.2	-0.2	1.3	-4.7	0.1	2.0
（構成比、%）	12.2	13.8	14.7	14.3	13.9	15.1	11.2	11.8	13.5

（注 1）財産所得は、一般政府、家計（個人企業及び持ち家の支払利子、支払賃貸料を除く）及び対家計民間非営利団体の財産所得の純受取である。企業所得は、民間法人企業、公的企業及び個人企業の営業余剰・混合所得に財産所得の純受取（ただし、個人企業及び持ち家については支払利子、支払賃貸料のみ）を加えたものである。

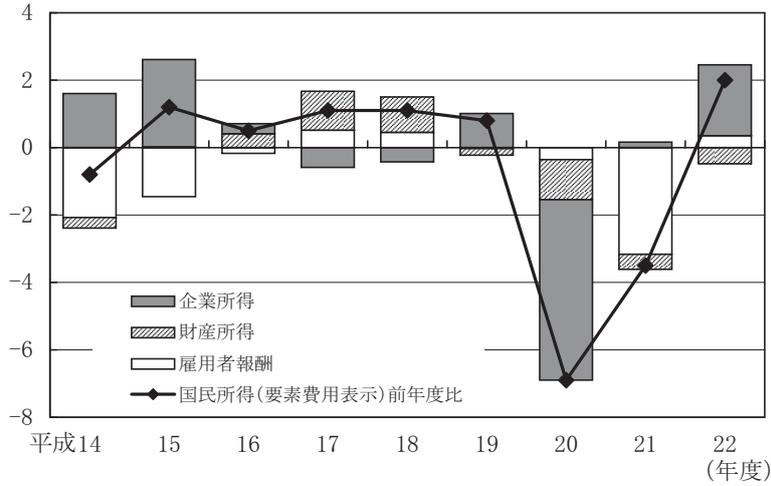
（注 2）寄与度は、国民所得（要素費用表示）前年度比に対する寄与度。

雇員報酬の改定状況

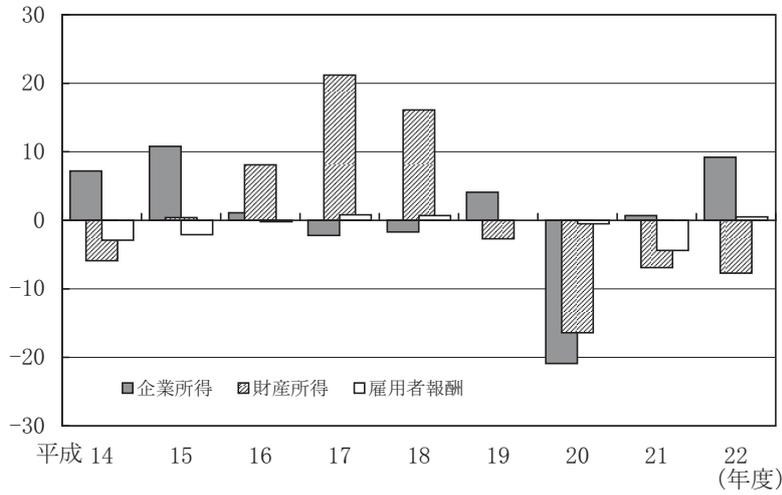
年度（平成）	14 年 2002	15 年 2003	16 年 2004	17 年 2005	18 年 2006	19 年 2007	20 年 2008	21 年 2009	22 年 2010
（前年度比、単位：%） 新	-2.9	-2.1	-0.2	0.8	0.7	-0.0	-0.5	-4.4	0.5
旧	-2.5	-1.9	-0.1	1.4	1.8	-0.4	-0.9	-3.6	1.0
差	-0.3	-0.2	-0.2	-0.6	-1.1	0.4	0.4	-0.8	-0.5
（実額、単位：兆円） 新	258.1	252.8	252.2	254.1	255.7	255.6	254.3	243.1	244.3
旧	261.2	256.3	256.1	259.6	264.3	263.2	260.8	251.4	253.8
差	-3.1	-3.5	-3.9	-5.6	-8.6	-7.5	-6.5	-8.3	-9.6

※：各項目の上段（新）は平成 17 年基準、中段（旧）は平成 12 年基準の計数を示す。

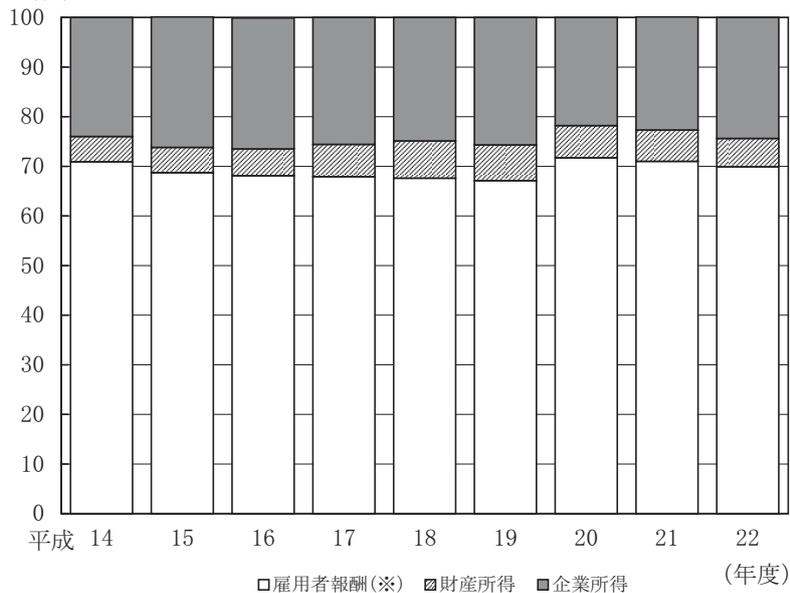
(%) 国民所得前年度比に対する各要素所得の寄与度



(%) 各要素所得の前年度比の推移

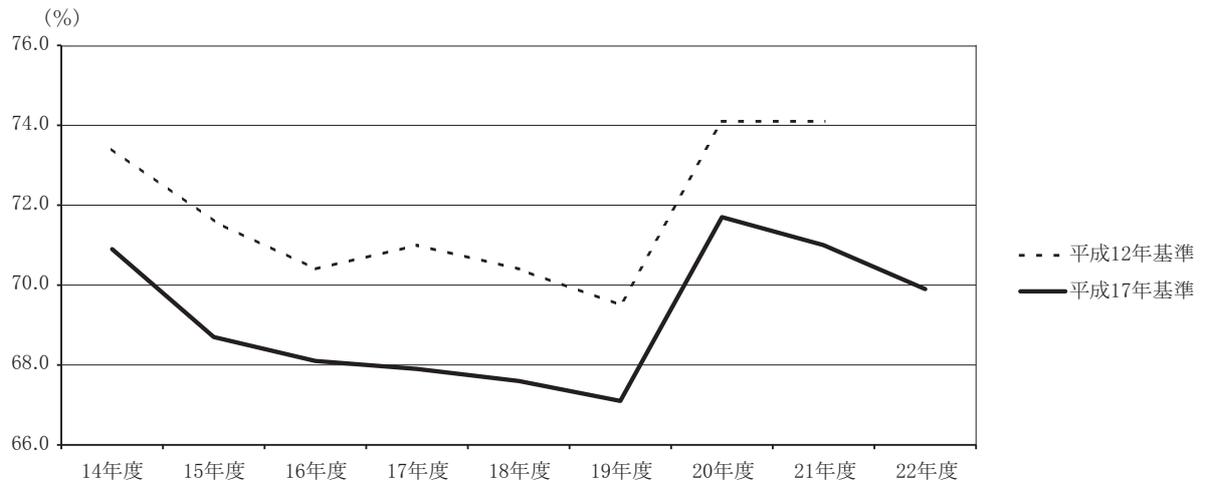


(%) 国民所得に占める各要素所得の構成



※ 雇用者報酬の構成比 = 労働分配率

労働分配率の改定状況



	14年度	15年度	16年度	17年度	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度
労働分配率 (平成17年基準)	70.9	68.7	68.1	67.9	67.6	67.1	71.7	71.0	69.9
労働分配率 (平成12年基準)	73.4	71.6	70.4	71.0	70.4	69.5	74.1	74.1	—

(2) 家計貯蓄

平成 22 年度の家計貯蓄は、7.3 兆円と 3 年ぶりに前年度から減少した（前年度差 -0.3 兆円）。内訳については、家計最終消費支出が前年度比 0.1% 減と 3 年連続で減少し、家計可処分所得が同 0.5% 減と 4 年連続で減少した。この結果、家計貯蓄率は 2.5% と前年度と比べ 0.1% ポイント低下した。

家計貯蓄率の推移

	14 年度 2002	15 年度 2003	16 年度 2004	17 年度 2005	18 年度 2006	19 年度 2007	20 年度 2008	21 年度 2009	22 年度 2010
家計可処分所得 (兆円)	290.8	289.5	288.3	289.6	292.1	291.0	288.4	288.1	286.8
(前年度比、%)	-0.4	-0.4	-0.4	0.5	0.8	-0.4	-0.9	-0.1	-0.5
年金基金年金準備金の変動 (受取) (兆円)	1.1	0.6	-0.4	-0.4	-0.4	-1.0	-1.7	-2.1	-1.4
(合計) (兆円)	291.9	290.1	287.8	289.3	291.7	289.9	286.7	286.0	285.3
家計最終消費支出 (兆円)	283.6	282.6	282.8	286.6	287.4	289.0	282.5	278.4	278.1
(前年度比、%)	0.0	-0.3	0.1	1.3	0.3	0.5	-2.2	-1.4	-0.1
(構成比、%)	97.2	97.4	98.3	99.1	98.5	99.7	98.5	97.4	97.5
家計貯蓄 (兆円)	8.3	7.5	5.0	2.7	4.3	0.9	4.3	7.6	7.3
(前年度差)	-2.1	-0.8	-2.5	-2.3	1.6	-3.4	3.3	3.3	-0.3
(構成比、%) = 家計貯蓄率	2.8	2.6	1.7	0.9	1.5	0.3	1.5	2.6	2.5

(注) 構成比は、家計可処分所得及び年金基金年金準備金の変動 (受取) の合計に対する構成比。

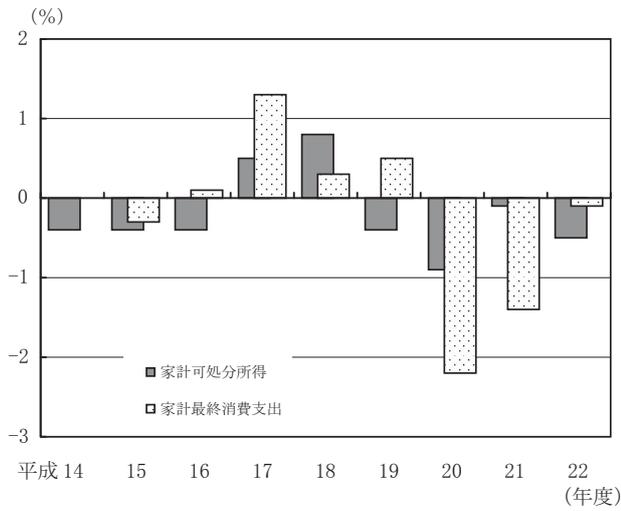
家計貯蓄率の対前年度差に対する寄与度 (%ポイント)

	14 年度 2002	15 年度 2003	16 年度 2004	17 年度 2005	18 年度 2006	19 年度 2007	20 年度 2008	21 年度 2009	22 年度 2010
家計貯蓄率の対前年度差	-0.7	-0.3	-0.8	-0.8	0.6	-1.2	1.2	1.2	-0.1
消費要因	-0.01	0.32	-0.05	-1.31	-0.28	-0.54	2.23	1.41	0.13
所得要因	-0.68	-0.58	-0.79	0.48	0.83	-0.61	-1.10	-0.26	-0.23
可処分所得	-0.39	-0.41	-0.43	0.46	0.83	-0.38	-0.88	-0.11	-0.46
営業余剰・混合所得	0.27	0.63	-0.67	-0.56	0.06	-0.05	-0.47	-0.11	0.30
雇用者報酬	-2.51	-1.77	-0.21	0.65	0.57	-0.04	-0.47	-3.87	0.41
現物社会移転以外の社会給付	0.87	-0.73	0.54	-0.19	0.62	0.58	0.35	1.71	0.47
財産所得 (純)	-0.19	0.00	0.10	0.68	1.05	-0.25	-0.74	-0.27	-0.15
所得・富等に課される経常税	1.30	0.44	-0.30	-0.38	-0.44	-0.74	0.28	0.82	0.27
社会負担	-0.06	1.07	0.05	0.09	-0.81	-0.21	0.11	0.51	-0.65
その他の経常移転 (純)	-0.07	-0.06	0.07	0.18	-0.22	0.34	0.06	1.10	-1.10

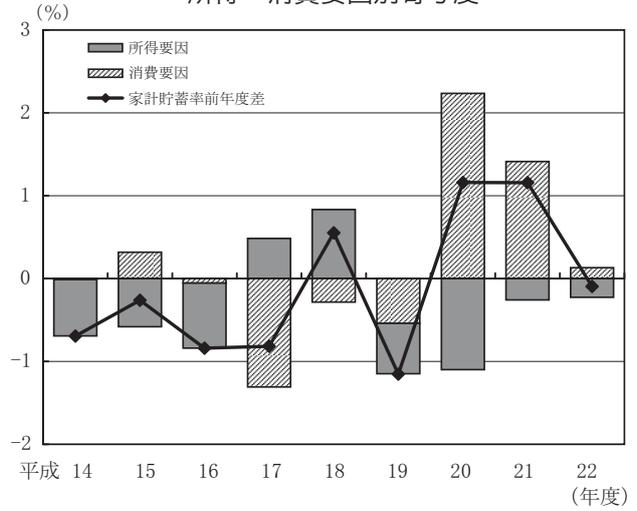
(注) 貯蓄率を s 、所得総額を I 、所得項目 i の額を I_i 、消費額を C とすると、貯蓄率の変化要因は下式のように分解される。上記寄与度分解においては、同式の第 1 項を消費要因、第 2 項を所得要因とし、第 3 項は捨象している。

$$\Delta s = -\frac{1}{I} \Delta C + \frac{C}{I(I + \Delta I)} \sum \Delta I_i + \frac{1}{I(I + \Delta I)} \Delta C \sum \Delta I_i$$

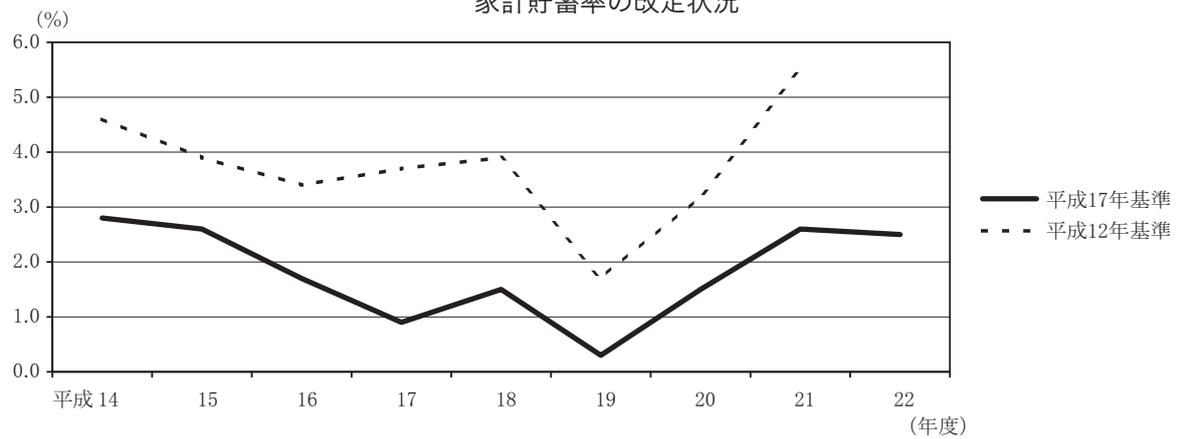
家計可処分所得、最終消費支出前年度比の推移



家計貯蓄率前年度差に対する所得・消費要因別寄与度



家計貯蓄率の改定状況



	14年度	15年度	16年度	17年度	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度
家計貯蓄率 (平成17年基準)	2.8	2.6	1.7	0.9	1.5	0.3	1.5	2.6	2.5
家計貯蓄率 (平成12年基準)	4.6	3.9	3.4	3.7	3.9	1.7	3.2	5.5	—

3. 生産

平成 22 暦年の経済活動別（産業別）の GDP 構成比をみると、第 1 次産業のシェアは 1.2% となり、横ばいとなった。

第 2 次産業のシェアは、建設業のシェアが低下したものの、製造業のシェアが上昇したことから、25.2% となり 3 年ぶりの上昇となった。

第 3 次産業のシェアは、サービス業などのシェアが低下したことから、73.6% となり 3 年ぶりの低下となった。

経済活動別（産業別）GDP の構成比（名目）

(%)

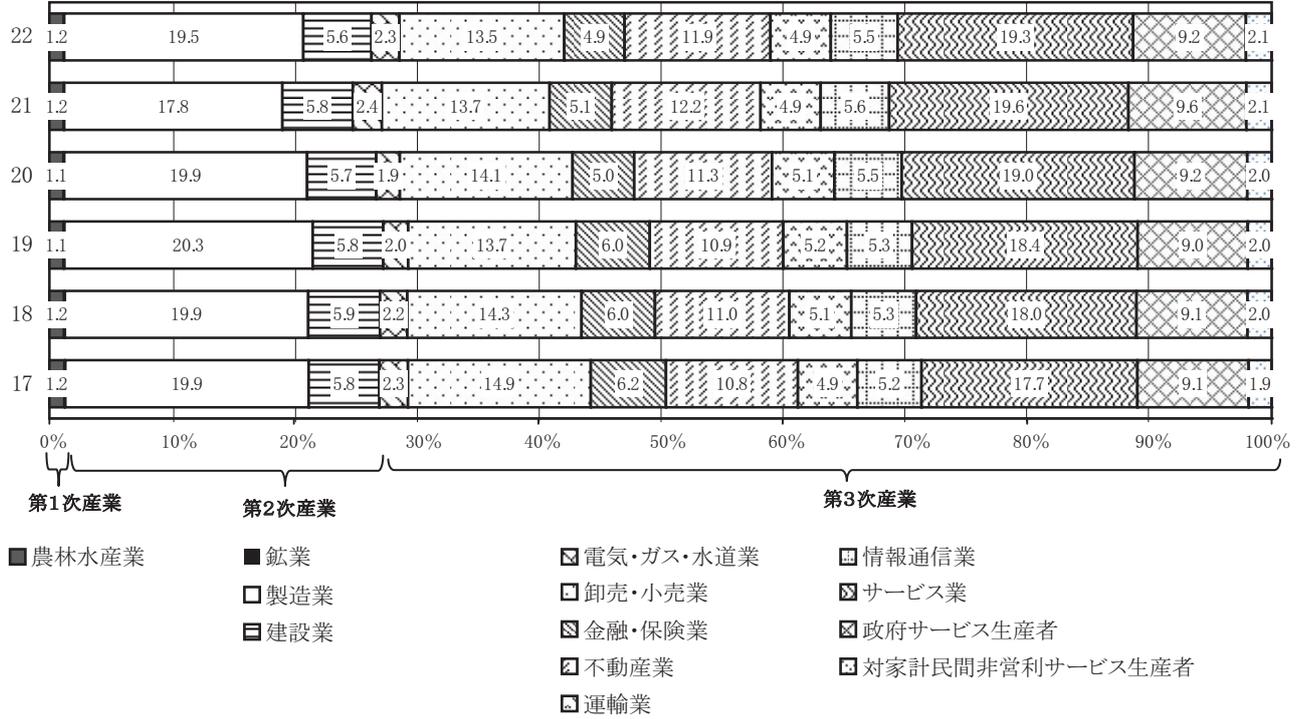
	17 暦年 2005	18 暦年 2006	19 暦年 2007	20 暦年 2008	21 暦年 2009	22 暦年 2010
1. 産業	89.0	88.9	89.0	88.8	88.3	88.7
(1) 農林水産業	1.2	1.2	1.1	1.1	1.2	1.2
(2) 鉱業	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1
(3) 製造業	19.9	19.9	20.3	19.9	17.8	19.5
(4) 建設業	5.8	5.9	5.8	5.7	5.8	5.6
(5) 電気・ガス・水道業	2.3	2.2	2.0	1.9	2.4	2.3
(6) 卸売・小売業	14.9	14.3	13.7	14.1	13.7	13.5
(7) 金融・保険業	6.2	6.0	6.0	5.0	5.1	4.9
(8) 不動産業	10.8	11.0	10.9	11.3	12.2	11.9
住宅賃貸業	9.6	9.7	9.6	9.9	10.7	10.5
その他の不動産業	1.2	1.3	1.3	1.3	1.5	1.5
(9) 運輸業	4.9	5.1	5.2	5.1	4.9	4.9
(10) 情報通信業	5.2	5.3	5.3	5.5	5.6	5.5
(11) サービス業	17.7	18.0	18.4	19.0	19.6	19.3
2. 政府サービス生産者	9.1	9.1	9.0	9.2	9.6	9.2
3. 対家計民間非営利サービス生産者	1.9	2.0	2.0	2.0	2.1	2.1
合 計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
第 1 次産業（農林水産業）	1.2	1.2	1.1	1.1	1.2	1.2
第 2 次産業（鉱業、製造業、建設業）	25.8	25.9	26.2	25.6	23.7	25.2
第 3 次産業（その他）	73.0	72.9	72.7	73.3	75.2	73.6

(注 1) 住宅賃貸業の生産額には、持ち家の帰属家賃（持ち家を賃貸と同様のサービス生産と考えること）を含む。

(注 2) 上記は、産業別付加価値の合計（国内総生産（GDP）とは異なる）に対する構成比である。

経済活動別（産業別）GDP構成比（名目）の推移

(暦年)



4. 純貸出 (+) / 純借入 (-)

(1) 制度部門別純貸出 (+) / 純借入 (-)

平成 22 年度の純貸出(+)/純借入(-) (対名目 GDP 比) については、一般政府 (-8.5%) がマイナスとなった一方、非金融法人企業 (8.1%)、家計 (3.5%)、金融機関 (0.4%) 等がプラスとなった。

制度部門別純貸出 (+) / 純借入 (-)

i) 実額

(単位：兆円)

		14 年度 2002	15 年度 2003	16 年度 2004	17 年度 2005	18 年度 2006	19 年度 2007	20 年度 2008	21 年度 2009	22 年度 2010
非金融法人企業	新	28.1	23.8	26.3	30.9	10.4	13.1	13.7	34.4	38.8
	旧	21.6	21.6	24.3	21.2	3.6	9.1	6.0	19.7	-
	差	6.5	2.2	2.0	9.7	6.8	4.0	7.8	14.7	-
金融機関	新	18.4	14.5	10.0	3.5	0.3	12.0	-0.8	1.9	1.9
	旧	17.1	14.8	10.6	12.3	1.3	11.5	-2.5	3.0	-
	差	1.3	-0.3	-0.7	-8.8	-1.0	0.5	1.8	-1.0	-
一般政府	新	-40.2	-37.3	-26.5	-20.9	-3.6	-13.5	-16.5	-42.9	-40.7
	旧	-40.8	-37.8	-27.3	-30.9	-5.1	-15.1	-15.5	-44.7	-
	差	0.6	0.5	0.8	10.0	1.5	1.6	-1.0	1.8	-
家計	新	3.3	10.2	4.3	2.2	11.4	10.5	12.5	20.7	17.0
	旧	8.9	13.7	8.9	9.6	15.9	11.2	14.2	27.2	-
	差	-5.6	-3.5	-4.7	-7.4	-4.5	-0.8	-1.7	-6.4	-
対家計民間非営利団体	新	0.7	0.9	0.6	0.4	1.0	0.2	0.4	-0.1	0.8
	旧	0.1	0.4	0.4	-0.2	0.6	0.9	0.8	0.3	-
	差	0.5	0.5	0.2	0.5	0.4	-0.7	-0.4	-0.4	-
海外部門	新	-13.0	-16.7	-17.8	-18.4	-20.6	-24.2	-11.8	-15.3	-15.6
	旧	-13.0	-16.7	-17.8	-18.4	-20.6	-24.2	-11.8	-15.3	-
	差	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	-

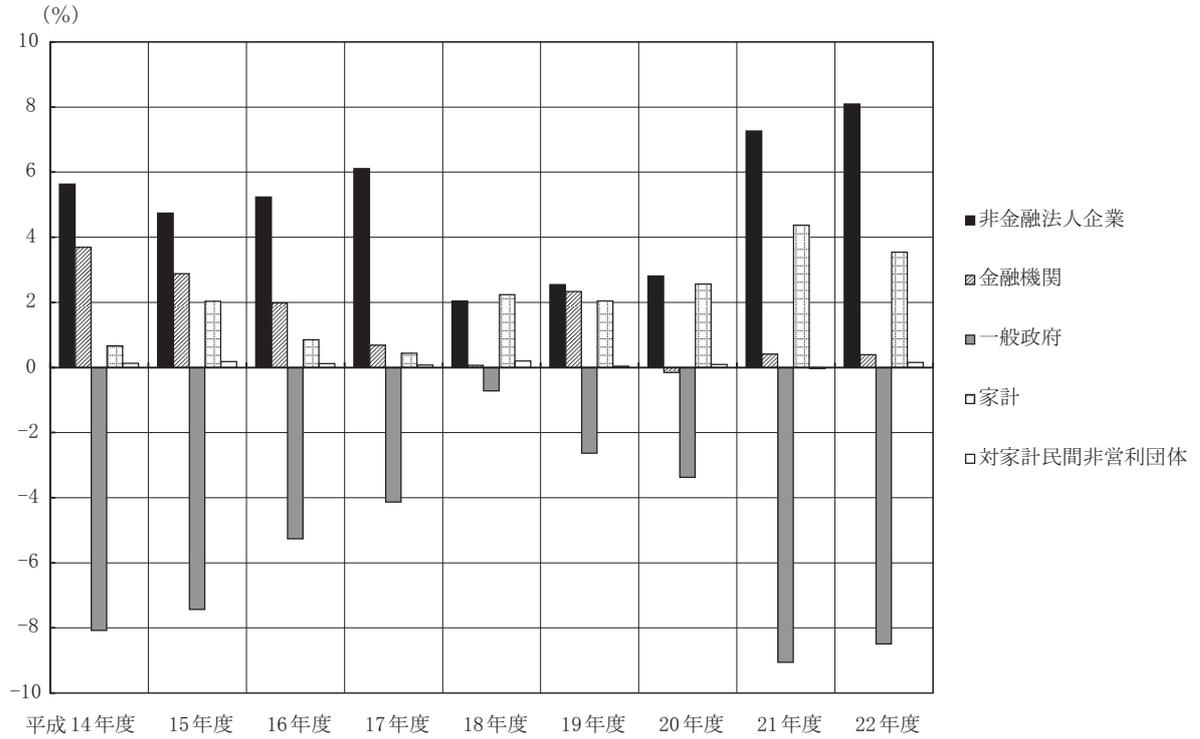
ii) 対名目 GDP 比

(単位：%)

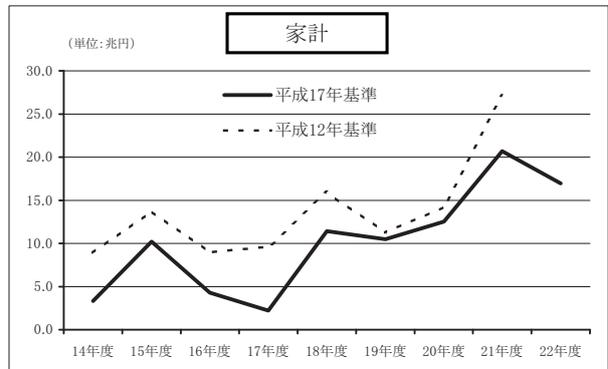
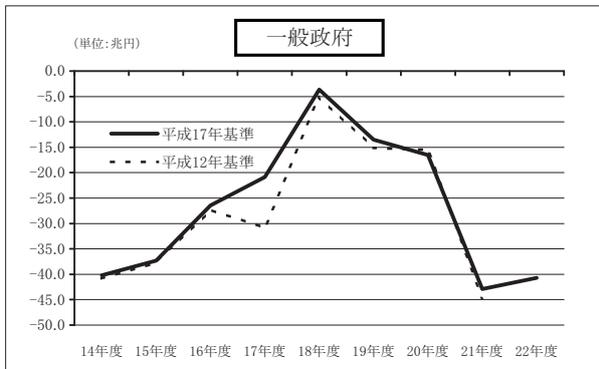
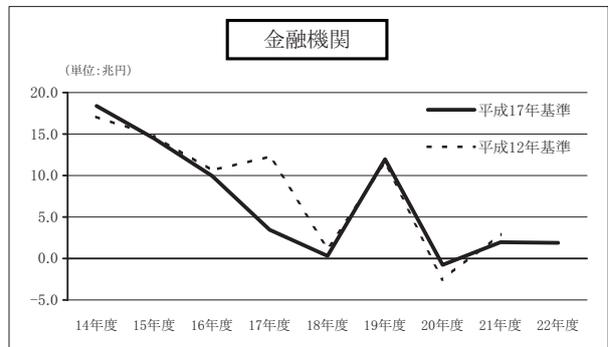
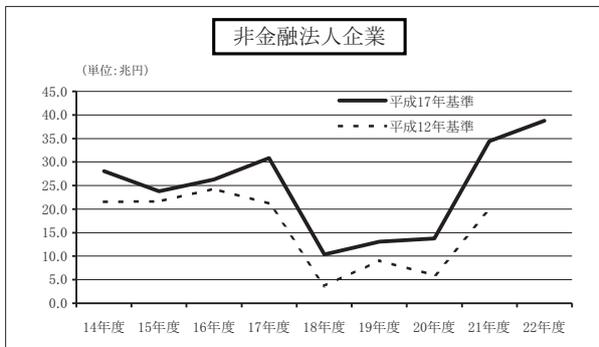
		14 年度 2002	15 年度 2003	16 年度 2004	17 年度 2005	18 年度 2006	19 年度 2007	20 年度 2008	21 年度 2009	22 年度 2010
非金融法人企業	新	5.6	4.7	5.2	6.1	2.0	2.5	2.8	7.3	8.1
	旧	4.4	4.4	4.9	4.2	0.7	1.8	1.2	4.2	-
	差	1.2	0.4	0.4	1.9	1.3	0.8	1.6	3.1	-
金融機関	新	3.7	2.9	2.0	0.7	0.1	2.3	-0.2	0.4	0.4
	旧	3.5	3.0	2.1	2.4	0.3	2.2	-0.5	0.6	-
	差	0.2	-0.1	-0.2	-1.7	-0.2	0.1	0.4	-0.2	-
一般政府	新	-8.1	-7.4	-5.3	-4.1	-0.7	-2.6	-3.4	-9.1	-8.5
	旧	-8.3	-7.7	-5.5	-6.1	-1.0	-2.9	-3.2	-9.4	-
	差	0.3	0.2	0.2	2.0	0.3	0.3	-0.2	0.4	-
家計	新	0.7	2.0	0.9	0.4	2.2	2.0	2.6	4.4	3.5
	旧	1.8	2.8	1.8	1.9	3.1	2.2	2.9	5.7	-
	差	-1.2	-0.7	-0.9	-1.5	-0.9	-0.1	-0.3	-1.4	-
対家計民間非営利団体	新	0.1	0.2	0.1	0.1	0.2	0.0	0.1	-0.0	0.2
	旧	0.0	0.1	0.1	-0.0	0.1	0.2	0.2	0.1	-
	差	0.1	0.1	0.0	0.1	0.1	-0.1	-0.1	-0.1	-
海外部門	新	-2.6	-3.3	-3.5	-3.6	-4.1	-4.7	-2.4	-3.2	-3.3
	旧	-2.7	-3.4	-3.6	-3.7	-4.0	-4.7	-2.4	-3.2	-
	差	0.0	0.1	0.0	0.0	-0.0	-0.0	-0.0	-0.0	-

※：各項目の上段（新）は平成 17 年基準、中段（旧）は平成 12 年基準の計数を示す。

制度部門別の純貸出 (+) / 純借入 (-) の対名目 GDP 比



制度部門別の純貸出 (+) / 純借入 (-) の改定状況



(2) 一般政府のプライマリーバランス

平成 22 年度の一般政府の財政状況を、純貸出(+)/純借入(-)から利子 (FISIM 調整前) の受払による増減を控除した、いわゆる「プライマリーバランス」(対名目 GDP 比) でみると、中央政府 (-5.6%)、地方政府 (-0.0%) 及び社会保障基金 (-1.7%) がマイナスとなったことから、一般政府全体では -7.4% となった。

一般政府のプライマリーバランス

i) 実額

(単位：兆円)

		14年度 2002	15年度 2003	16年度 2004	17年度 2005	18年度 2006	19年度 2007	20年度 2008	21年度 2009	22年度 2010
一般政府	新	-33.6	-31.0	-21.5	-17.8	-1.3	-11.0	-12.3	-38.3	-35.4
	旧	-34.0	-31.3	-22.0	-27.2	-2.0	-11.8	-10.6	-39.5	-
	差	0.4	0.2	0.5	9.4	0.7	0.9	-1.7	1.2	-
中央政府	新	-26.0	-26.0	-20.6	-16.3	-0.5	-8.7	-10.2	-30.6	-27.0
	旧	-26.3	-26.5	-20.9	-26.4	-0.8	-9.2	-7.9	-31.5	-
	差	0.3	0.4	0.3	10.2	0.3	0.5	-2.3	0.9	-
地方政府	新	-1.9	-2.0	0.6	2.7	4.0	3.3	4.4	1.8	-0.2
	旧	-1.8	-1.9	0.4	2.4	3.6	2.8	3.9	1.7	-
	差	-0.1	-0.1	0.2	0.3	0.4	0.5	0.5	0.1	-
社会保障基金	新	-5.7	-3.0	-1.5	-4.2	-4.8	-5.5	-6.5	-9.5	-8.2
	旧	-6.0	-2.9	-1.5	-3.2	-4.8	-5.4	-6.5	-9.7	-
	差	0.2	-0.1	-0.0	-1.0	-0.0	-0.1	0.0	0.2	-

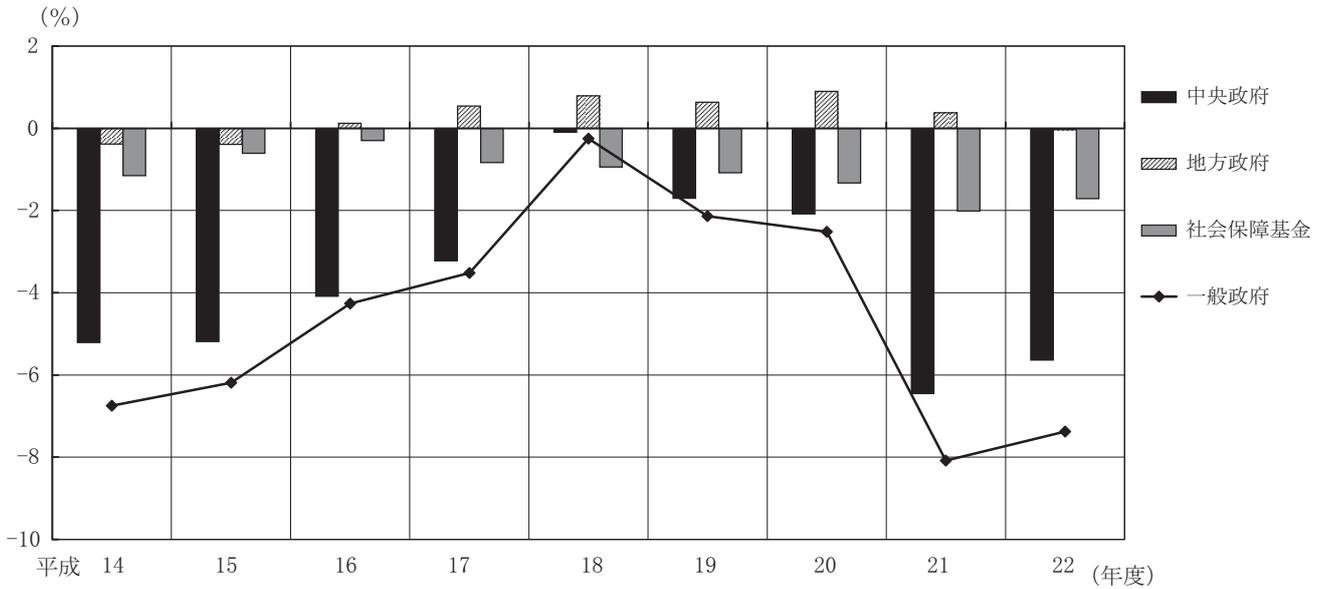
ii) 対名目GDP比

(単位：%)

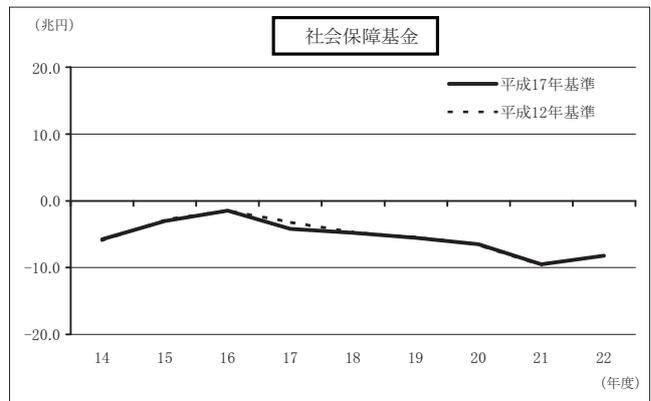
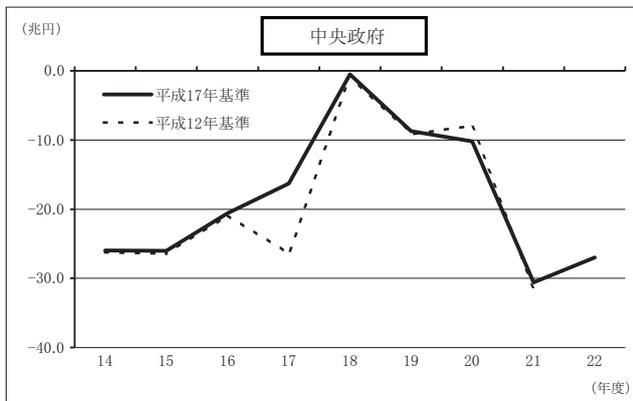
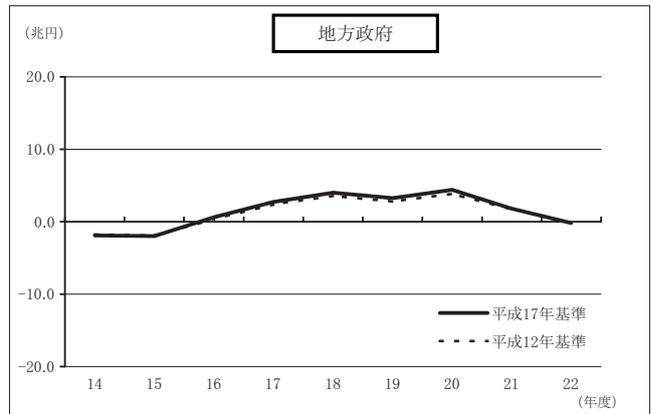
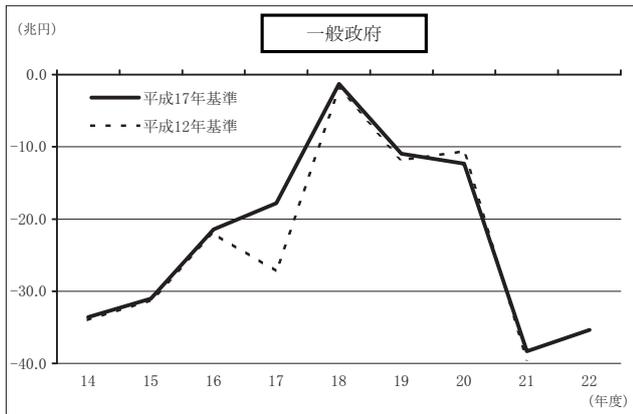
		14年度 2002	15年度 2003	16年度 2004	17年度 2005	18年度 2006	19年度 2007	20年度 2008	21年度 2009	22年度 2010
一般政府	新	-6.7	-6.2	-4.3	-3.5	-0.3	-2.1	-2.5	-8.1	-7.4
	旧	-6.9	-6.3	-4.4	-5.4	-0.4	-2.3	-2.2	-8.3	-
	差	0.2	0.1	0.1	1.9	0.1	0.2	-0.4	0.2	-
中央政府	新	-5.2	-5.2	-4.1	-3.2	-0.1	-1.7	-2.1	-6.5	-5.6
	旧	-5.4	-5.4	-4.2	-5.3	-0.2	-1.8	-1.6	-6.6	-
	差	0.2	0.2	0.1	2.0	0.1	0.1	-0.5	0.2	-
地方政府	新	-0.4	-0.4	0.1	0.5	0.8	0.6	0.9	0.4	-0.0
	旧	-0.4	-0.4	0.1	0.5	0.7	0.5	0.8	0.4	-
	差	-0.0	-0.0	0.0	0.1	0.1	0.1	0.1	0.0	-
社会保障基金	新	-1.2	-0.6	-0.3	-0.8	-0.9	-1.1	-1.3	-2.0	-1.7
	旧	-1.2	-0.6	-0.3	-0.6	-0.9	-1.1	-1.3	-2.0	-
	差	0.1	-0.0	0.0	-0.2	-0.0	-0.0	-0.0	0.0	-

※：各項目の上段(新)は平成17年基準、中段(旧)は平成12年基準の計数を示す。

一般政府の部門別プライマリーバランスの対名目GDP比



一般政府の部門別プライマリーバランスの改定状況



5. 一人当たり名目GDP、国民所得

一人当たりの名目GDPは、平成22年度374.2万円と、前年度より4.2万円増加し、3年ぶりに増加した。

一人当たりの国民所得は、平成22年度272.9万円と、前年度より5.3万円増加し、3年ぶりに増加した。

一人当たり名目GDP、国民所得

年 度	名目GDP		国民所得		総人口		一人当たり名目GDP		一人当たり国民所得	
	実額 (10億円)	前年度比 (%)	実額 (10億円)	前年度比 (%)	実数 (千人)	前年度比 (%)	実額 (千円)	前年度比 (%)	実額 (千円)	前年度比 (%)
14-2002	498,008.8	-0.7	363,890.1	-0.8	127,447	0.2	3,909	-0.9	2,855	-1.0
15-2003	501,889.1	0.8	368,100.9	1.2	127,683	0.2	3,931	0.6	2,883	1.0
16-2004	502,760.8	0.2	370,088.3	0.5	127,754	0.1	3,936	0.1	2,897	0.5
17-2005	505,349.4	0.5	374,084.8	1.1	127,761	0.0	3,956	0.5	2,928	1.1
18-2006	509,106.3	0.7	378,105.1	1.1	127,876	0.1	3,981	0.6	2,957	1.0
19-2007	513,023.3	0.8	381,061.5	0.8	128,002	0.1	4,008	0.7	2,978	0.7
20-2008	489,520.1	-4.6	354,767.2	-6.9	128,053	0.0	3,822	-4.6	2,770	-7.0
21-2009	473,859.2	-3.2	342,518.9	-3.5	128,030	-0.0	3,700	-3.2	2,676	-3.4
22-2010	479,204.6	1.1	349,277.7	2.0	128,029	-0.0	3,742	1.1	2,729	2.0